

## 【お役立ち情報】

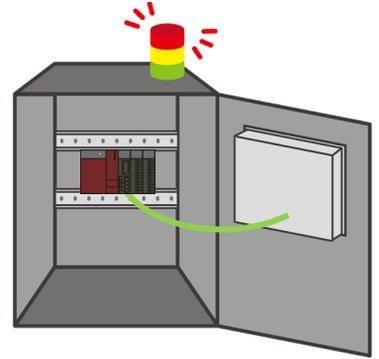
# V9本体のローカル画面を活用すれば作業効率がアップ！ 通信設定等を本体だけで変更可能！

Before

現場での作業中に通信設定の変更が必要になったが、手元にPCがなく、作業をしながらの対応ができなかった。



本体上で設定が  
変更できれば、現場  
でも対応しやすい  
のになぁ・・・。



V9なら本体で変更可能です！

After

V9シリーズでは、ローカル画面から、通信パラメータやIPアドレスなどの設定を変更できます。

【ローカル画面から変更できる設定】

- ・LAN設定
- ・E-Mail設定
- ・通信設定
- ・システム設定 (ブザー/バックライト)
- ・ユーザー設定 (セキュリティ等)

<変更する時>



本体で変更した設定は、電源をOFFしても保持されます。変更内容は、画面データに上書きされず、「設定ファイル」に保存されます。(次頁参照)

<元に戻す時>



スイッチひとつで、画面データの設定内容に戻すことができます。

現場ですぐに変更ができるから、作業時間が短縮できるね！



## 「設定ファイル」について

**設定ファイル：** 本体で変更したローカル画面の設定内容を保存しているファイルです。(拡張子 \*.bin)  
 ・画面データとは別の独立したファイルです。  
 ・設定ファイルに保存された設定内容は、画面データの設定内容より優先されます。

### 設定ファイルを保存するには

修理・故障などで本体を交換する時に必要になることを想定して、バックアップしておくことをお勧めします。



V-SFT-6を起動し、  
 [転送] → [読込] → [転送データ: 設定ファイル] を選択し、  
 [PC<-] をクリックします。ファイルは名前を付けて保存できます。

保存した設定ファイルは、  
 [転送] → [書込] → [転送データ: 設定ファイル]  
 → [PC->] で本体に転送できます。

ローカル画面の「ストレージ転送」メニューで、本体からストレージに保存もできます！

### 設定ファイルをクリアするには

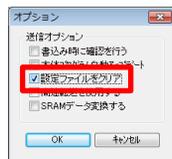
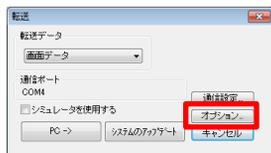
新しい画面データを転送しても、ローカル画面で変更した設定内容が残っていると、PLCと通信できないかも・・・



画面転送時に、ローカル画面で設定した内容をクリアできます！「設定ファイルをクリア」を使いましょう。



V-SFT-6を起動し、[転送] → [書込] → [転送データ: 画面データ] → [オプション] から、  
 [設定ファイルをクリア] にチェックして、[OK] をクリックします。



[PC->] をクリックすると画面データの転送が開始されます。途中、以下のダイアログが表示されるので「はい」をクリックします。



保存もクリアもできるから置換えに便利だね！



\* 設定ファイルをクリアすると、V9シリーズの言語設定が英語になります。ローカル画面の言語設定で言語を変更してください。